



和歌山県作業療法士会 スキルアップ研修会

日本作業療法士協会 生活行為工夫情報モデル事業 研修会

身近な道具・テクノロジーを用いた作業療法

日時 2020年**2月8日(土)** 13:30~16:00 (受付13:00~)

会場 きびドーム (有田川町下津野2021, 駐車場有)

参加費 和歌山県士会員：無料 , 他士会員：材料費 1000円
(参加資格：日本作業療法士協会の会員であり、都道府県作業療法士会の会員)

講師 小林 大作 OTR (紀州リハビリケア訪問看護ステーション)
専門作業療法士(訪問)、認定作業療法士

講義 13:30~14:30 **生活行為の困りごとの析出方法とその対応**

演習 14:40~16:00 **入力スイッチの製作体験 (全員に作製してもらいます)**
障害を有する方へのスマホ・パソコンの工夫

日々の臨床において、対象者の生活行為の困りごとを聴き出したり、具体的に解決したりすることに難しさを感じている方は多いのではないのでしょうか。本研修会では、生活行為工夫情報モデル事業で蓄積されてきた生活行為の困りごととその解決方法の活用方法についてお伝えします。また、演習では障害を有した方がパソコンやスマホを使用するための工夫について、事例を提示し工夫方法を検討いただきます。その中で、入力スイッチの製作体験も企画しています。身近な道具やテクノロジーを生活行為にどうつなげていくかについて考える研修会ですので、領域に関係なく是非ご参加ください。

申し込みは、和歌山県作業療法士会ホームページ(下記URLもしくはQRコード)からおこなってください。

http://wakayama-ot.jp/?page_id=987

申し込み締め切り:2月2日(日) 締め切り後は問い合わせ先に相談ください。

【問い合わせ先】住環境福祉機器支援推進委員会 **MAIL** hukushiyougu.wakayama.ot@gmail.com

